

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子育てサポート・ふれ愛 大和西大寺北校 (児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日 ~ 令和6年12月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51名	(回答者数)	36名
○従業者評価実施期間	令和6年12月23日 ~ 令和7年1月8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月30日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが楽しみながら通所していただいている	遊びを通して苦手な課題に取り組めるよう活動プログラムを立案している。 曜日を決めて通所するクラス制を取り入れることで、子ども同士や担当職員と信頼関係を築きやすく、苦手なことにも安心して向き合うことが出来る環境を整えている。	多職種での連携を強化して分析を行い、お子様ひとりひとりに合わせた支援を行うことでより安心感を持て楽しく活動できるよう取り組む。
2	児童発達支援計画は、子どもの特性を理解したうえで作成され、十分な説明を受けたと感じていただいている	こどもの特性に合わせて支援内容を検討できるよう、事業所内のモニタリングの機会を設けている。 面談の機会を十分に取り、ニーズの確認を丁寧に行っている。	PDCAサイクルの推進により業務改善に取り組み、より一層モニタリングの内容を充実できるよう取り組む。
3	子どもの特性に応じて専門性を持ち、共感的な支援を受けているを感じていただいている	相談に対しては迅速に対応できるよう職員間の情報共有を行っている。 支援の資質向上のため、社内研修を行っている。	専門的な支援に関しても、より多くの職員が対応できるよう、研修等のより一層の充実を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援や保護者交流の機会を十分に周知できていない	父母の会にあたる『ゆるやかな親の会』の開催時間が放課後等デイサービス開所時間となるため、児童発達支援利用のご家族に参加していただきにくい	各クラスの療育時間内に行う保護者勉強会の内容を検討し、ニーズの高いものを企画することで、保護者勉強会への参加を促し交流の機会を設けられるよう工夫する。
2	活動スペースについてもう少し余裕がある方が望ましい	法令に遵守したスペースの確保をしているが、多くの方に通所を希望していただき以前と比較して各クラスの利用人数が増えたため	整理整頓とパーテーションなどによる空間の整備に取り組み、安全で十分な活動スペースを確保できるように工夫する。
3	活動概要等の発信にHPやSNSを活用しきれていない	活動内容の報告が教室内掲示にかたより、活動ブログの更新が出来ていない	PDCAサイクルの推進により業務改善と業務分担に取り組み、活動を発信できる機会を増やせるよう工夫する。